

道づくりだより

第60号 2013.2 島根県道づくり調整会議



-Contents-

1. 主要地方道 松江島根線「西川津工区」開通!! (道路建設課)
2. 松江自動車道 (三次東 JCT・IC ~ 吉田掛合 IC)
開通記念イベント&開通式 (高速道路推進課)
3. 山陰自動車道 (福光~江津間) 計画段階評価
第2回中国地方小委員会が開催されました (高速道路推進課)
4. 松江北道路 第1回意見交換会を開催しました (高速道路推進課)
5. 「道路ふれあい月間」推進標語を募集します! (道路維持課)
6. 安能広域農道「安能トンネル」の貫通式を開催 (農地整備課)
7. 中間谷農道が完成! (農村整備課)

主要地方道 松江島根線「西川津工区」開通！！



(主) 松江島根線 西川津工区のうち、780mが平成25年2月23日に開通しました。
 これにより、昨年度既に供用している120mと合わせて900mが全線開通となりました。

3月1日の川津バイパス（ニュー学園台～あじさい団地入り口交差点）の4車線化、及び3月10日予定の松江第五大橋道路（通称松江だんだん道路）の全線開通と合わせて、松江市中心市街地の交通渋滞緩和や、歩行者の安全性の向上が期待されます。

○事業概要○

- 工区延長 : 900m
- 事業区間 : 松江市下東川津～西川津
- 事業期間 : 平成12年度～平成24年度
- 道路規格 : 第3種2級
- 道路幅員 : 13.5m (車道6.5m + 両側歩道)
- 設計速度 : 50km/h
- 主要構造物 : 嵩見大橋 (だけみおおはし)
- 総事業費 : 約32億円



朝酌川にかかる長さ46mの橋梁の名称は地元自治会の皆様のご意見から“嵩見大橋 (だけみおおはし)”に決定しました。

また、地元川津小学校6年生の習字の作品が橋名板に使われています。ご協力ありがとうございました。



松江自動車道（三次東JCT・IC～吉田掛合IC）

開通記念イベント&開通式



松江北道路 第1回意見交換会を開催しました

平成25年1月9日（水）～17日（木）に、川津・古江・持田・法吉・生馬・城北の6会場にて、松江北道路に関する意見交換会を開催し、176名の方にご参加いただきました。本会では、松江市内の道路ネットワークの現状と課題、課題解決のための方向性、松江北道路の概ねの検討範囲等について説明し、参加者の方々と意見交換を行いました。

意見交換の場では、松江市内の現状や本事業のスケジュールについての質問の他、松江北道路の整備方法について下記のような意見をいただきました。

- 佐陀川から西は穀倉地帯であり、白鳥の飛来地でもある。もっと北側を通るような案にしてほしい。
- 田園地帯の景観を壊さないようにしてほしい。
- 交差点の集約はあまりしないでほしい。
- 農業用車両の横断を十分配慮してほしい。
- ところどころに非常駐車帯を設けてほしい。



意見交換会の様子（生馬会場）

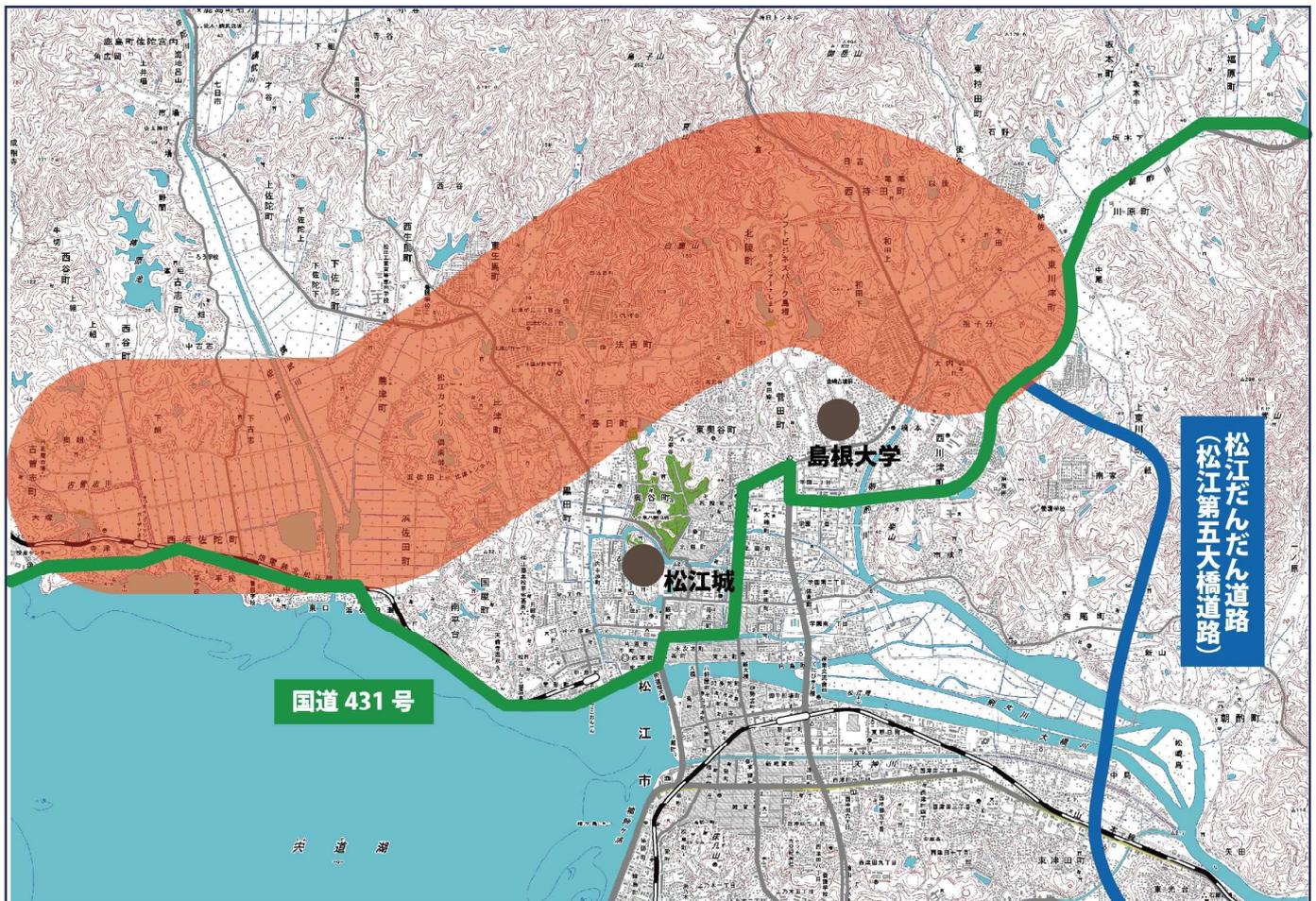
第1回意見交換会で頂いたご意見及びその回答については、後日松江北道路ホームページにてお知らせします。

次回、第2回意見交換会は平成25年3月18日（月）～27日（水）の期間中に川津・古江・持田・法吉・生馬・城北の6会場にて開催します。第2回の内容は、ルート案の説明やその考え方についてです。日時や場所についての詳細は松江北道路ホームページをご覧ください。

【松江北道路ホームページ】

<http://www.pref.shimane.lg.jp/kosokudoro/matsuekita.html>

＜松江北道路検討範囲＞



「道路ふれあい月間」 推進標語を募集します！

国土交通省では毎年8月を「道路ふれあい月間」とし、道路の正しい利用や道路愛護活動の推進に努めており、この一環として、平成25年度「道路ふれあい月間」の推進標語を募集しています。

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない基本的な施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。

そこで、この推進標語の募集を通じて、改めて道路の意義・重要性について考えて頂くことを目的としています。なお、入賞作品は、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。

～ 一本の 道に日本の 底力 ～

平成24年度「道路ふれあい月間」推進標語 最優秀作品 徳島県 今田 紗江 さん（一般の部）

募集テーマ

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。

募集要領

- **応募資格** 小学生以上の方から応募できます。
- **応募方法** 1人何作品でも応募できます。
〈はがきによる応募の場合〉
はがきに、標語と必要事項【氏名とふりがな・住所・電話番号・性別・年齢・応募部門（「小学生」、「中学生」、「一般（高校生以上）」）の別】を記入のうえ郵送してください。
送付先：〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
国土交通省道路局道路交通管理課 標語担当あて
〈パソコン、携帯電話の電子メールによる応募の場合〉必要事項を記載の上 dourohyogo25@mlit.go.jp に送信してください。
〈学校単位での応募の場合〉生徒の作品をとりまとめのうえ、封書又はファイルを添付した電子メールによる一括応募ができます。また、氏名、住所等の必要事項は、学校のものとすることができます。
- **応募期間** 平成25年3月31日（日）まで（当日必着）
- **その他** 入賞者には直接通知するとともに、国土交通省ホームページや機関誌等で発表します。
「道路ふれあい月間」の期間中に主催者である国土交通省から賞状及び楯を贈呈します。
- **お問い合わせ先**
国土交通省道路局道路交通管理課 03-5253-8111（内線 37423） dourohyogo25@mlit.go.jp
詳しくは→ http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000318.html

やすのう

やすのう

安能広域農道「安能トンネル」の貫通式を開催

去る1月29日（火）に安能広域農道で工事中の「安能トンネル」の貫通式が行われたので、その様子を紹介するよ～

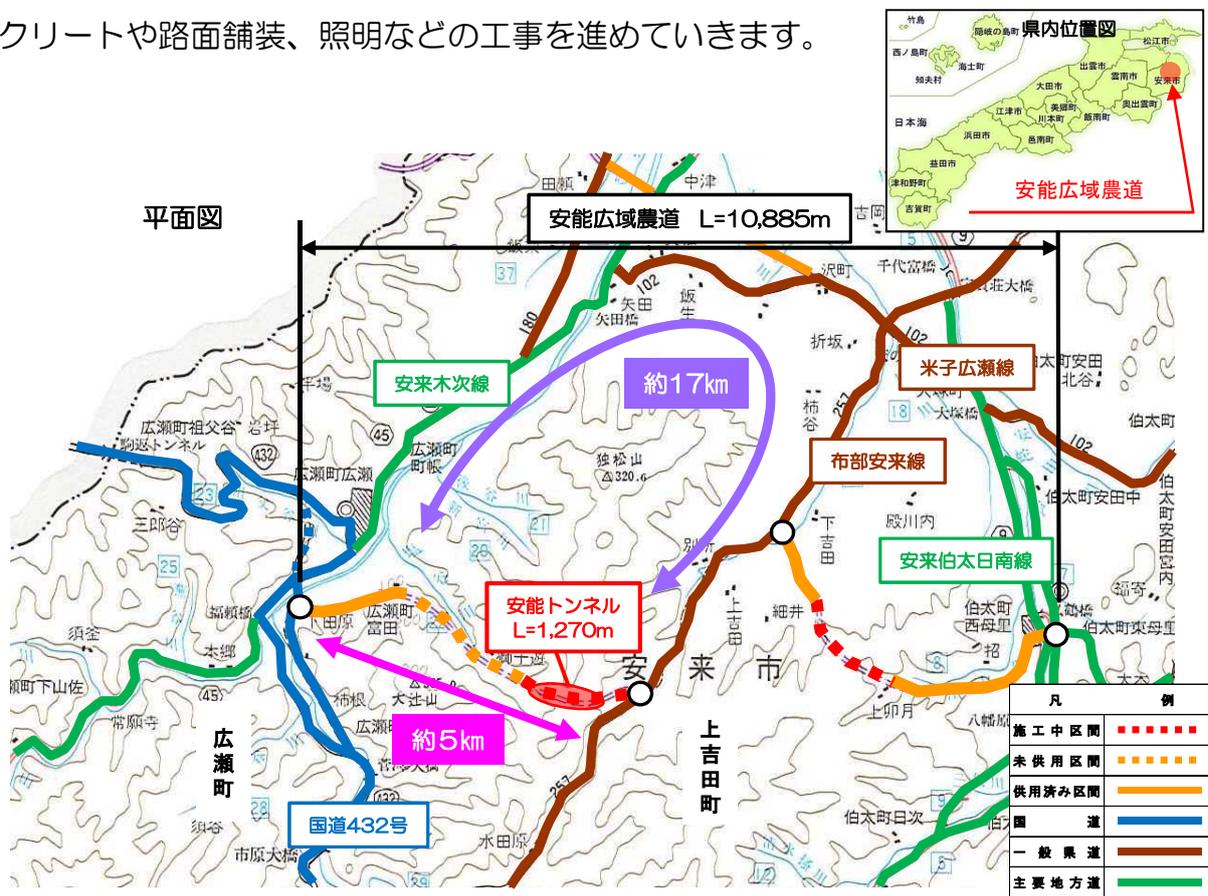


『しまねの農業農村整備すごろく』
キャラクター ドジョウのどうじょ君

本農道は、安来市の伯太町と広瀬町の中山間部を東西に結ぶ延長約10.9kmの農道で平成11年度から整備を進めていますが、平成22年12月に着工した「安能トンネル」が貫通したことから、これを記念して貫通式が開催されました。

「安能トンネル」は、安来市の上吉田町と広瀬町富田にまたがる長さ1,270mのトンネルで、完成すれば上吉田町～広瀬町間の移動距離を約17kmから約5kmに短縮することができ、農産物等の輸送に係る経費の節減や時間の短縮、地域間の交流人口の拡大による地域の活性化などが期待できます。

トンネルは早期完成に向けて現在も工事中で、今後はトンネル内面を覆うコンクリートや路面舗装、照明などの工事を進めていきます。



☆☆☆ 安能トンネル貫通式の様子 ☆☆☆

平成25年1月29日に地元関係者、発注者、施工業者、総勢約80名が参加し安能トンネル貫通式が盛大に行われました。

式では、最終貫通発破の点火後、安全確認を行い貫通点へ移動、清めの神事を執り行った後、通り初めを行いました。その後、貫通点での記念撮影や通り抜けなどを行い貫通を祝いました。

最後に、安能地区広域農道整備事業促進協議会の山田培雄会長から「本当によかった。完成を心待ちにしている。」との言葉をいただき、万歳三唱により閉式しました。



貫通発破の様子を見守る参加者



最終貫通発破の点火



施工業者から発注者へ無事貫通したことを報告



貫通点通り初め(県農林水産部長と安来市長)



掛け声と共に鏡開き



貫通点を通り抜け(広瀬町側にて)

なかまだに 中間谷農道が完成！

本農道は、典型的な中山間地域である美郷町北部に位置し、県道別府川本線と町道杉谷槇の前線を東西に結ぶ路線です。農道周辺では水稲をはじめ、ナタ豆や大麦若葉の生産が盛んで、大麦若葉の加工施設や牧場等もあり、通作や農産物の流通に利用されるとともに、周辺住民の重要な生活道路となっています。しかし、改良前は幅員が2.5～3mと車両の離合もままならず、更に、地すべり地帯であることから降雨等により度々被災するなど抜本的な改良が求められていました。

○地元の方の声！

いつも通る道が、景観の良い安心安全の道路になりました。
 日によっては車も、頻繁に通り少し賑やかになり、私たちも元気を頂きました。
 お世話頂いた関係機関の方々に、地元は感謝しております。

農道の概要

- 全長 1.4 km [支線 0.2 km] 全幅 5.0m [支線 3.0m]
- 県営中山間地域総合整備事業 2.9 億円 (H21～23 年度)



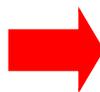
《ナタ豆》



《大麦若葉》



[整備前]



[整備後]



本農道の整備により、水稲や大麦若葉・ナタ豆の栽培や加工、畜産など、より一層の進展や地域の持続的発展を期待しています。